

由利本荘市子吉土地改良区

受益面積 657 ha

- 由利本荘市子吉土地改良区は、子吉川左岸の由利本荘市の市街地に隣接する地域を受益地とする。
- 用水は主として子吉川支川の鮎川や子吉川本川等から取水するとともに、鳥海山麓の大谷地ため池や子吉ため池等により用水需要に対し供給量調整を行う。



子吉ため池



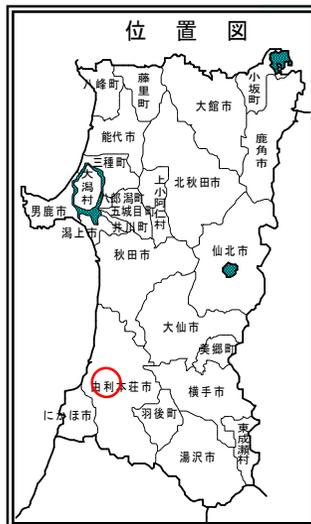
子吉地区に用水供給する堰口頭首工（鮎川）



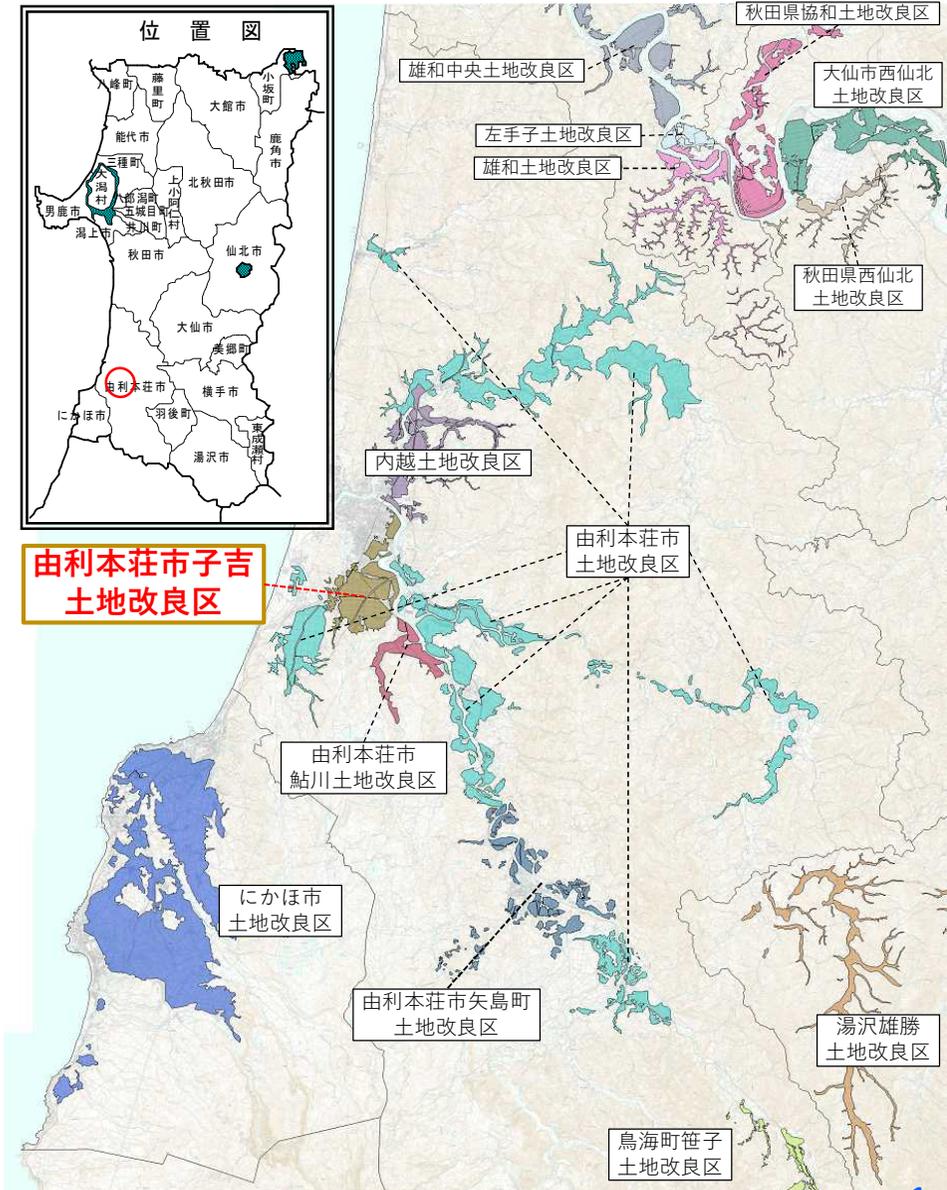
子吉地区の受益地



中央地区に用水供給する第1揚水機の円筒吐水桝



由利本荘市子吉土地改良区



【内 容】

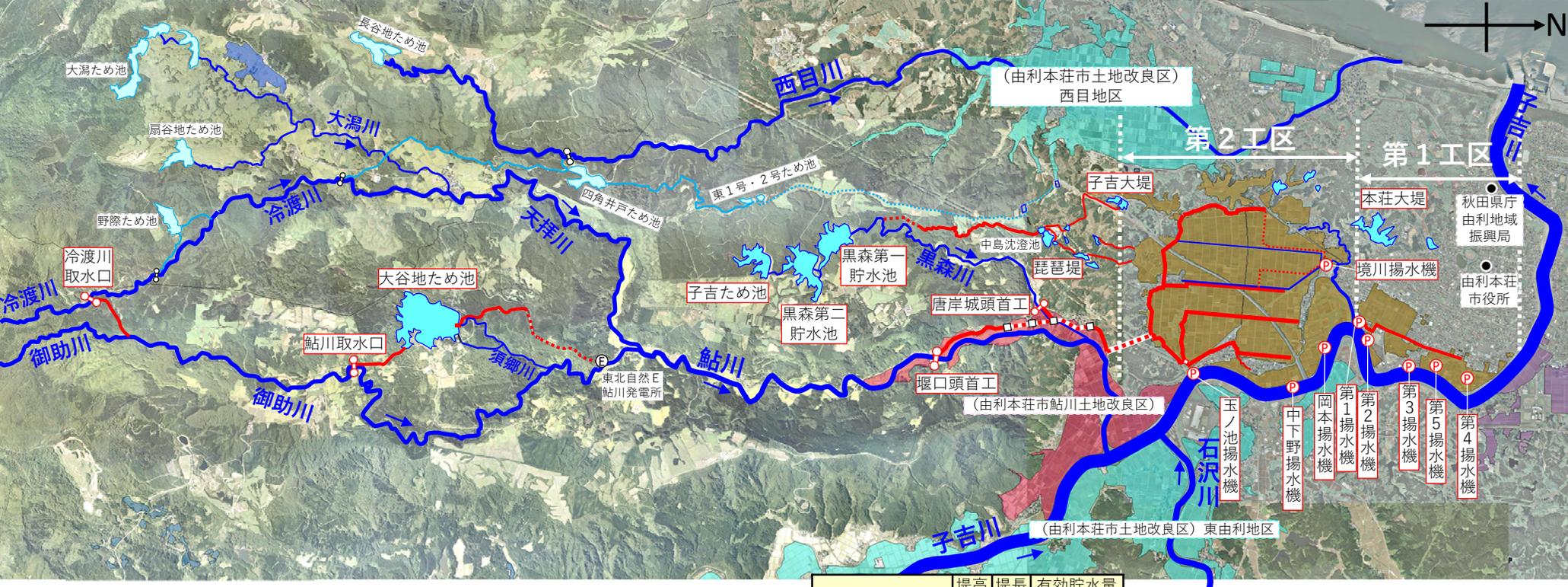
- 農業水利システム（全体）
- 土地改良区の歴史
- 大谷地ため池の歴史
 - ・（各施設の状況）大谷地ため池①
 - ・（各施設の状況）大谷地ため池②
- 子吉ため池等の歴史
 - ・（各施設の状況）子吉ため池・黒森川第2貯水池
 - ・黒森川第1貯水池
- 農業水利システム：第2工区（子吉地区・岡本地区）
 - ・（各施設の状況）堰口頭首工・導水路
 - ・（各施設の状況）堰口頭首工・導水路
 - ・子吉ため池からの補水
 - ・（各施設の状況）子吉大堤・琵琶堤
- 農業水利システム：第2工区（岡本地区）
- 農業水利システム：第1工区（旧中央地区）
 - ・（各施設の状況）第1工区（旧中央地区）
 - ・第1工区の歴史
- 施設の維持保全
- ほ場整備

作 成	秋田県 農業農村整備等技術検討委員会 秋田県由利地域振興局農村整備課
協 力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 由利本荘市子吉土地改良区 ・ 由利本荘市 ・ 秋田県土地改良事業団体連合会
作成経緯	ver. 1.0 令和7年3月
基本凡例	<div style="text-align: center;">   </div> <p>※ 資料作成の都合上、必ずしもこれらのおりの表記となっていない場合がある</p>
出 典	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田県水土里情報システムのレイヤを使用したものは次のとおり 地形図：「測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R6JHs 74-GISMAP59536号」 航空写真：「© NTT InfraNet, JAXA」 衛星写真：「© NTT InfraNet, Maxar Technologies.」 ・ その他土地改良区提供資料など
備 考	<p>本資料は、秋田県の農業を支える基盤であり、地域資源でもある農業水利施設について、土地改良区毎にその構成、歴史、維持管理等の概略を示し、土地改良区の組合員のみならず地域住民の皆様に対し広く周知するものです。</p> <p>これにより、各地域の農業水利施設を保全管理することの重要性について理解を深めていただき、農業水利施設の持続的な機能発揮と秋田県の農業の発展の一助となることを目指しています。</p> <p>本資料については、現地調査に加え、水土里情報システム内の資料、過去に実施した事業の資料、土地改良区からの提供資料、土地改良区からの聞き取りなどをベースに作成していることから、時点が古い情報や現状と比較し正確ではない情報が含まれていることがあります。このため、本資料を閲覧される方に置かれましては、このことを予め御了知いただくとともに、本資料を利用すること等により生じるトラブルや損害等については、秋田県ではその責任を負いかねますので、予めご了承ください。</p>

農業水利システム (全体)

電力・上水とため池を共用し用水を確保

- 鳥海山麓から流れ出る冷渡川（ひえわたしがわ）・御助川（おたすけがわ）等を水源とし、電力と共用の大谷地ため池、上水と共用の子吉ため池及び黒森第一・第二貯水池により用水需給が逼迫する時期の用水を確保。
- 堰口頭首工からの用水は由利本荘市鮎川土地改良区と共用しつつ、隧道により受益地に送水。また、玉ノ池揚水機・境川揚水機により補水。
- 地域の下流部は本荘大堤とともにポンプ取水により用水供給。



主要ため池	堤高 (m)	堤長 (m)	有効貯水量 (千m3)
大谷地ため池	118	310	3,530
子吉ため池	14.3	310	1,000
黒森川第二貯水池			
黒森川第一貯水池 (中島沈澄池)			
子吉大堤	9.2	51	99
琵琶堤 (第一)	13.0	90	120
琵琶堤 (第二)	4.0	295	
本荘大堤	10.4	205	238

※ 電：電力会社、子：由利本荘市子吉土地改良区、鮎：由利本荘市鮎川土地改良区

土地改良区の合併・統合

S.33～	本荘市大野	S.41～	本荘市中央	H.14～	由利本荘市子吉
S.27～	本荘市子吉				

土地改良の歴史

■ 第2工区（子吉地区・岡本地区）

17世紀頃 又はそれ以前	堰口～子吉まで導水する蛇喰堰（じゃばみげぎ）（又は宮内堰とも言う）の開削。当時の路線は不明なるも、明治初期には堰口から鳴沢台を迂回し子吉村に至り総延長約6km。
1767	宮下堤（ため池）の築造
1907 (M40)	子吉村耕地整理事業が発足（初代組合長：前村長の今野真佐男氏）
1907-1922 (M40-T10)	子吉村における耕地整理事業の実施（受益面積542ha→575ha）。同事業の一環として1909年（明治42年）に宮下隧道（通称「穴堰」）開削。これにより蛇喰堰の総延長は3kmとなった。
1910 (M43)	大谷地ため池の築造に着手
1919 (T8)	子吉1号ため池（西由利原1号ため池）の築造
1921 (T10)	大谷地ため池の5m嵩上げ
1922-1923 (T11-T12)	宮下隧道（穴堰）のコンクリート巻立て工事
1933-1935 (S8-S10)	県営子吉村用水改良事業として子吉2号ため池（西由利原2号ため池）を建設（関係団体：子吉村普通水利組合）。船岡大堤の築造、由利原幹線水路の工事着手。
1939 (S14)	本荘町水道の工事開始。黒森川を分水し、由利原幹線水路の維持管理を水利組合から本荘町に移管。
1941 (S16)-1953(S28)	黒森川（1号）貯水池の建設開始。1943年(S18)に一部給水開始。1953年(S28)に嵩上げ
1942-1956 (S17-S31)	県営鮎川筋用水改良事業により大谷地ため池の改修工事（堤体の嵩上げ：H=14.2. L=359.0m, V=3,530千m ³ , 受益地1,200ha）
1958 (S33)	玉ノ池揚水機場の建設。
1959 (S34)	宮下堤の埋め立て
1960 (S35)	子吉1号ため池を本荘町水道局に売却（現在の黒森2号貯水池）。子吉土地改良区・本荘市長の間で水利協定を締結。（子吉2号ため池は、現在「子吉ため池」となった）
1966 (S41)	鮎川発電所の建設（大谷地ため池の用水を利用し、最大1.47m ³ /s、落差190m、最大2,300kw。東星興業株式会社が管理し東北電力に売電。現在は東北自然エネルギー株式会社が運用）。
1972-1976 (S47-S51)	由利本荘市による黒森川第1貯水池の改修（堤高/堤頂長/堤体積/貯水量:26m/330m/116千m ³ /1,300千m ³ ）
1979-1982 (S54-S57)	県営ほ場整備事業「岡本地区」の実施
1981-1985 (S56-S60)	県営老朽化ため池事業により子吉ため池の堤体を嵩上げ（子吉土地改良区・本荘市ガス水道局）
1987-1996 (S62-H8)	県営ほ場整備事業「子吉地区」「子吉2期地区」の実施
1999 (H11)	本荘市ガス水道局が子吉土地改良区等に対し渇水時に備えた堤体嵩上げによる貯水量増量計画を提案
2003-2004 (H15-H16)	子吉ため池の貯水量を379千m ³ ⇒1,000千m ³ に増量（水道用水の確保）

■ 第1工区（旧中央地区）

1921-1926 (T10-T15)	地区の幹線排水路を建設
1932 (S7)	梵天谷地耕地整理組合による耕地整理事業
1933 (S8)	百馬力揚水機の設置
1970-1972 (S45-S47)	団体営かんがい排水事業により百馬力揚水機、梵天谷地揚水機の改修
1976-1977 (S51-S52)	一番堰、大堤大水路を土水路からコンクリート装工に改修
1993-1995 (H5-H7)	県営かんがい排水事業（水田排特）により幹線排水路の改修
2003-2004 (H15-H16)	第一揚水機場の改修（受益面積122ha）

第1・第4・第5揚水機場近傍の石碑を参考に作成

伊藤吉郎（19XX）「宮下の『穴堰』のこと」『●●●●』、藤田真利子（2003）「秋田県由利町を中心とする河川灌漑と溜池灌漑の特色」『秋大地理』50, pp.39-42, 子吉ため池石碑より

大谷地ため池の歴史

(1) ため池の築造

- 明治時代以前より鮎川村（現在の由利本荘市鮎川土地改良区管内）と子吉村（現在の由利本荘市子吉土地改良区管内）は主に鮎川より取水しており、用水不足により水争いが絶えなかった。
- 明治42年に子吉村・鮎川村を対象とし耕地整理事業が実施（子吉村への穴堰はこの際に整備）。
- 用水不足の解決のため、直後の明治43年に大谷地ため池を築造（L-118m, 満水面積35ha）。

(2) ため池の嵩上げ

- 大正10年には護岸工事（野石張）とともに堤体を嵩上工事に着手し大正11年に完了（貯水位1m上昇）。
- 子吉村では依然として用水が不足しており、この確保のため昭和17～31年にかけて県営鮎川筋用水改良事業により、大谷地ため池の堤体嵩上げを実施（H=14.2. L=359.0m, V=3,530千m³, 満水面積65ha）。

(3) 発電所の建設

- 昭和41年に大谷地ため池の水を利用する鮎川発電所建設。現在、同発電所は東北自然エネルギー株式会社により運用されており、大谷地ため池についても同社が管理している。

※ 第一展望台の看板、記念碑、顕彰碑、東北自然エネルギー株式会社HP等を参考とした

大谷地溜池記念碑

抑毛耕地の開拓は水源の如何に依りて定まる 由耒鮎川河水量に乏しく一村耕地の灌漑を充すに足らず 是れ當業者の多年憂慮して止まざりし●以ふる 時恰も明治四十二年九月耕地整理企業の議興る 然当に有志間には水源涵養残先決せんと力説するもの阿る 是れ一面従来係争せる子吉村との分水問題を解決し以て一村の福利を永久に保障する一挙兩得の良業なりとせる 當時衆議決せず徒らに曲折して荏苒日を送る ●と淹し是時に除し木内鉄治郎氏率先組合長佐藤力之助氏を激励し自ら難局を打解し 地を天興の大谷地に決して築堤の工を起し 至誠奉公終始一貫統督の任に當り 手餘にして其の工を竣へ以て鮎川百年の大計を樹る 是れ素より天祐の加護阿らむも氏の功績興りて力ありと云ふべし 茲に碑に詠して敢を後昆に傳ふ而以なる 昭和三年三月



木内鐵治郎顕彰碑

凡そ経國濟民の本義は治山治水にあり 興農振作の基は水利の整備にある 往時より鮎川村は灌漑取水の大半を鮎川水系に求め 剩さえ子吉村との共有水利権の慣行から配分水量極めて乏しく 取水をめぐる激烈不毛の抗争が荏苒久しきに及んだ

明治四十二年村民有志による耕地整理組合が設立されるに至り 氏は指導責任者となり抜群の行動力を以って短期間に區劃整理事業を完成した

氏はまた耕地整理と一体をなす灌漑水利の整備を企画し 水源を求め鳥海山麓をくまなく跋渉深査し遂に南由利原に適地を発見するに至った 即ち現在の大谷地溜池である

明治四十三年着工以来氏の献身的努力と村民の協力が結実し大正十一年に完成をみた 総面積三十余町歩、給水日数六十余日とされる

仰げば霊峰鳥海の雄姿 俯すれば幽玄碧水の大谷地 眺望絶佳のこの地に一基の碑を建立し 敢えて氏の遺業を後世に顕彰せんとするものである

昭和五十四年六月十一日
由利町鮎川土地改良区建之



※ 大谷地ため池第1展望台の石碑及び近傍の木内神社の石碑より。●は判読不能の文字。片仮名は平仮名とし、一部の漢字は常用漢字としている。

(各施設の状況)

大谷地ため池① 建造当時は秋田県内一の貯水量を有する人造湖

- 冷渡川・御助川から導水・貯留し、東北自然エネルギー(株)の鮎川発電所を經由して鮎川に放流し、下流に用水供給するため池である。
- かんがい期の操作は土地改良区、非かんがい期の操作は発電所が行い、施設の維持管理は発電所が担う体制となっている。



取水塔



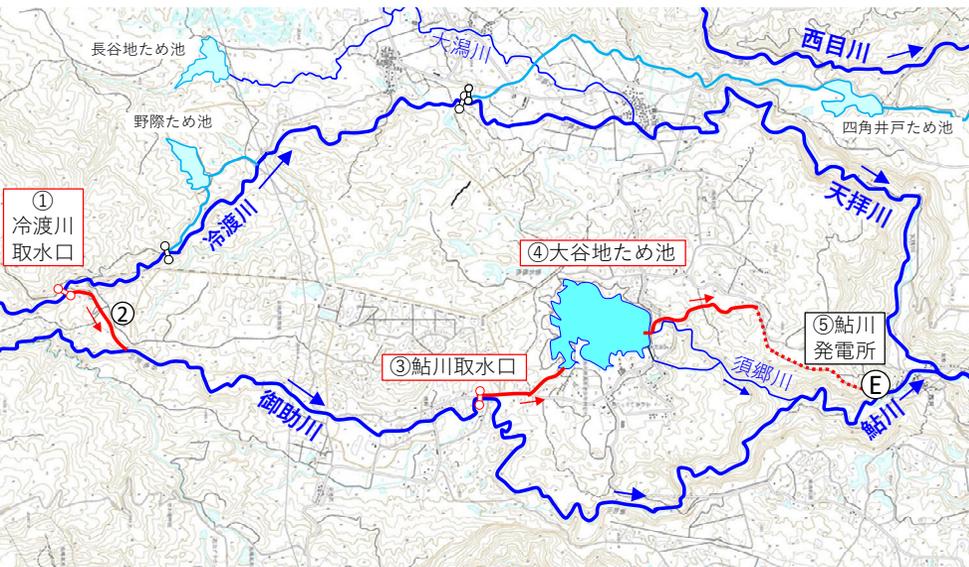
導水路

堤高	堤長	有効貯水量
14.2m	359m	3,530千m ³

(各施設の状況)

大谷地ため池② 大谷地ため池への注水・大谷地ため池から鮎川への放流

- 上流域では、電力の冷渡川取水堰により、冷渡川右岸から御助川への流域変更が可能となっている。
- 大谷地ため池には御助川から導水・貯留し、東北自然エネルギー(株)の鮎川発電所を経由し鮎川に放流。
- これら取水口・ため池の操作・管理は電力会社が行う。



パー・スクリーン形式により右岸側で取水可能



導水路は土水路



運転開始	1967年
取水量	1,470 m ³ /s
導水路延長	1,334 m
水圧鉄管延長	1,681 m
落差	190 m
最大発電量	2,300 kw

※東北自然エネルギー株式会社HPより

鮎川下流の
堰口頭首工で取水

子吉ため池等の歴史

(1) 用水不足とため池の築造

■ 明治42年の耕地整理事業での穴堰掘削による宮内堰の経路短縮や、明治43年の大谷地ため池の築造によっても、依然として子吉村においては農業用水が不足していた。

■ 子吉村の耕地に直接用水供給が可能な施設として、大正8年に子吉1号ため池が、昭和8年には子吉2号ため池、そしてこれらの導水を行う由利原幹線水路が完成。これにより、堰口～穴堰経由とは別ルートによる用水供給が可能となった。

(2) 子吉1号ため池の売却（黒森川2号貯水池）

■ 昭和31年に大谷地ため池の堤体嵩上げが完了し、また昭和33年には玉ノ池揚水機が完成したため、用水不足は大幅に緩和された。

■ このような中、本荘市の人口増加に伴う飲料水不足を解消するため、本荘市と本荘市子吉土地改良区が協議を重ね、昭和35年に子吉1号ため池が改良区から市に売却された。

（名称：子吉1号ため池→黒森川2号貯水池）

これに伴い、由利原幹線水路の維持管理についても本荘市が担うこととなった。

■ さらに、上水道の用水不足リスク軽減のため、平成15-16年にかけて子吉ため池（旧子吉2号ため池）の嵩上げにより貯水量を38万m³から100万m³に増加。

泉莖老朽ため池等人規模整備事業 業 記録碑

本溜池は、昭和八年、当時子吉村普通水利組合が県営子吉村用水改良事業として着工、昭和十年に完成したもので、以来四十六年が経過し、全水吐・放水路及び取水施設の老朽が著しく各所に漏水が見られ、このまま放置できない状態となり、尚、昭和四十八年、五十一年に制定された「ダム構造物管理基準令」に基づく堤体の余裕率が保たれていない為、県の指導を受け昭和五十六年農地防災事業として着工、昭和六十年完成したものである。仮設道路用地、堤体嵩上による拡張用地、堤体盛土に伴う土取場、土捨て場について子吉財産区より多大なご協力を得ております。

事業名 ため池等整備（大規模老朽ため池）
地区名 子吉地区 事業期間 昭和56年度～昭和60年度
受益面積 340 ha 総事業費 151百万円
主要工事及びため池諸元（新）
堤体工 盛土8,260m³、切土4,950m³、法尻ドレン50m
法面保護上流張ブロック、下流張芝、型式均一
堤高10.3m、堤長305m、貯水量378千m³
余裕高1.45m 天端巾4.5m
法面勾配2割5分（上下流）
取水施設 型式底樋直接取水 取水口400ミリ二門
操作方法手動油圧方式 底樋HP800mmコンクリート巻立53.5m
洪水吐 型式側溝越流式 越流巾40m、能力毎秒44.3m³
事業主体 秋田県 溜池管理者 本荘市子吉土地改良区
昭和60年11月建立



水は天の恵みなり

この子吉溜池は子吉田圃に灌漑用水を供給するため昭和八年に築造され取水施設、洪水吐きが老朽、また堤体の高さが安全基準を満たして無い事から昭和五十七年に県営老朽溜池等整備事業で改修し同六十年に完成した。

平成十一年に本荘市ガス水道局が濁水時を懸念し以前にも立案された子吉溜池の嵩上げを計画し子吉土地改良区が協力を要請され役員会、総代会を開催し昭和三十五年締結の水利協定を遵守する事を条件とし関係する子吉財産区、各町内会とも協議の結果この嵩上げ拡張計画に同意する。貯水量三十七万九千トン百万トンにする工事は平成十五年に着工し同十六年に完了する。

総事業費 4億8千万9千円
ため池諸元 貯水量 百万m³ 貯水面積22.4町歩
堤体工 本堤 310m 副堤 459.7m 堤高本堤14.3m（嵩上3.18m）
洪水吐工 115m 越流部 12.5m 放水路 全長102.5m
取水施設 操作室 1棟（9.72m²） 護岸工一式 底樋 18.8m
施工年度 平成13年～平成16年

由利原水系 沿革

子吉土地改良区の由利原水系は以前から利用していた黒森川の上流に安定した水量確保のため大正八年に子吉一号溜池を、昭和八年に子吉二号溜池を造り、同時に由利原幹線水路を着工し犠牲者を出すなど困難を伴いながら完成し、それまでの穴堰経由での宮下堤や東回り方面への利用と、琵琶堤と昭和八年完成の船岡大堤と共に藤崎方面への用水を可能にした。昭和十四年開始の本荘町水道が同じ黒森川を水源の適地として定め、当時の子吉水利組合では維持管理を本荘町水道が行う事で黒森川の水を分水すると決定した。昭和三十一年には悲願の大谷地溜池の大改修工事が完成し水田用水が大幅に確保された。

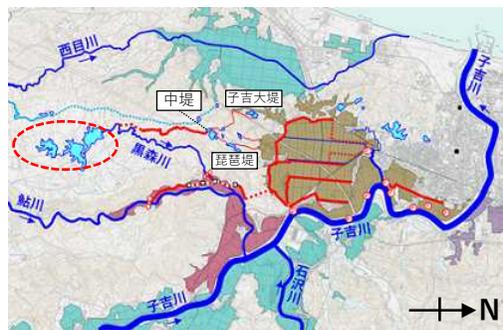
また水道の需要量の増加に対応する水道局の要請により昭和三十五年に子吉一号溜池を売却し、現在は改修され黒森二号として水道局で使用しております。同時に双方が公平に貴重な水資源を有効に活用するため、子吉土地改良区理事長と本荘市長とでそれまでの諸取り決めや約束事を一元化し水利協定書を締結した。

平成十六年十一月建立 本荘市子吉土地改良区

(各施設の状況)

子吉ため池・黒森川第2貯水池・黒森川第1貯水池

■ 子吉ため池（農業用）・黒森川第2貯水池（水道用）・黒森川第1貯水池（水道用）は三連ため池となっており、管理は由利本荘市水道局が一元的に行っている。用水は黒森川から分水し谷地堤（水道局の中島沈澄池上部）を経て子吉大堤（船岡）と琵琶堤（葛法）に流れる。



黒森川を経て
由利原幹線
水路に分水

谷地堤へ
由利本荘市水道局
管理の中島沈澄池
の上部

琵琶堤or子吉
大堤を経て
受益地に

子吉ため池の円筒越流式洪水吐

子吉ため池の洪水吐は県内でも珍しい円筒越流式である（俗に言う「ダム穴」）



子吉ため池



黒森川第2貯水池

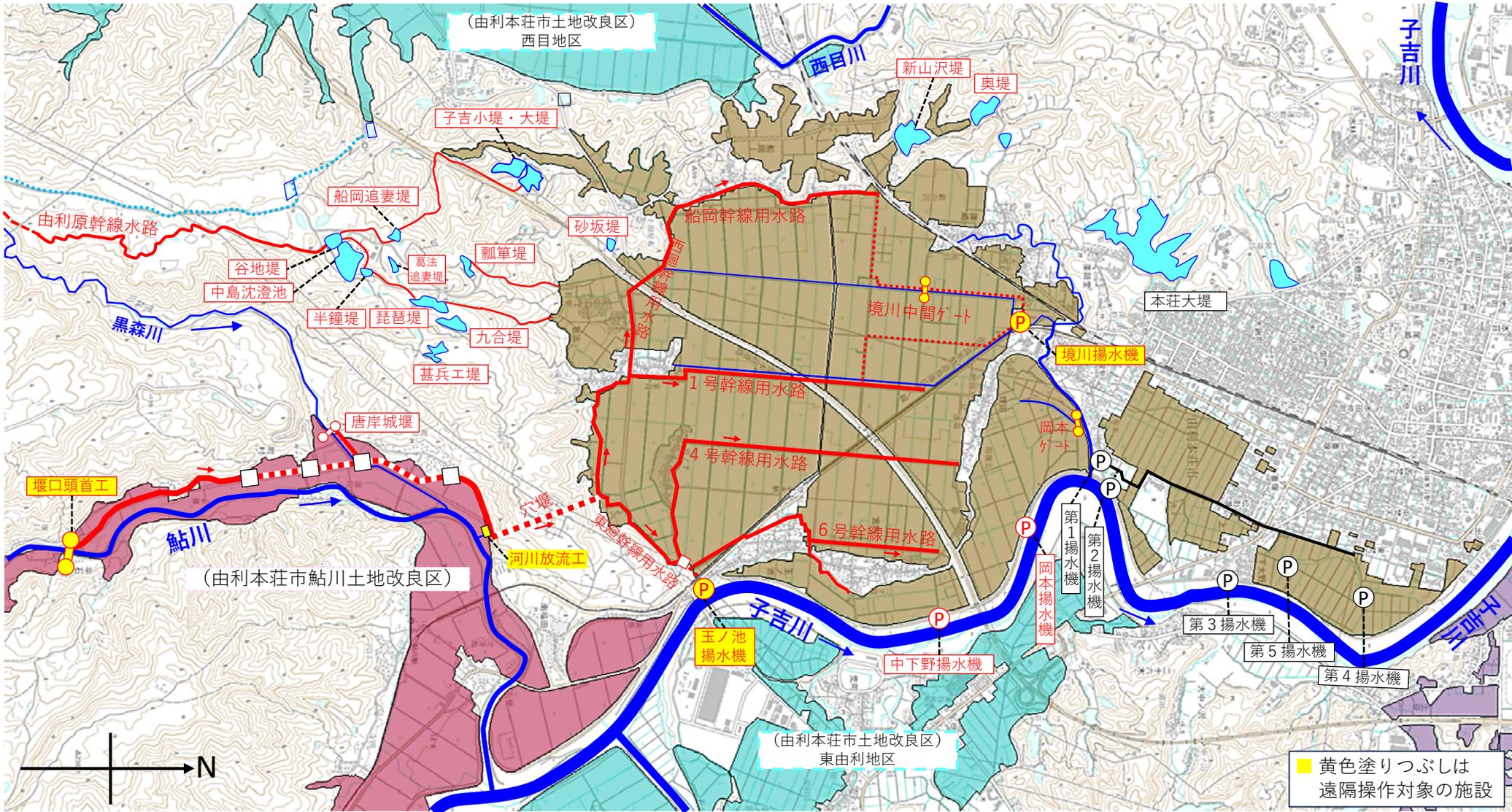


黒森川第1貯水池

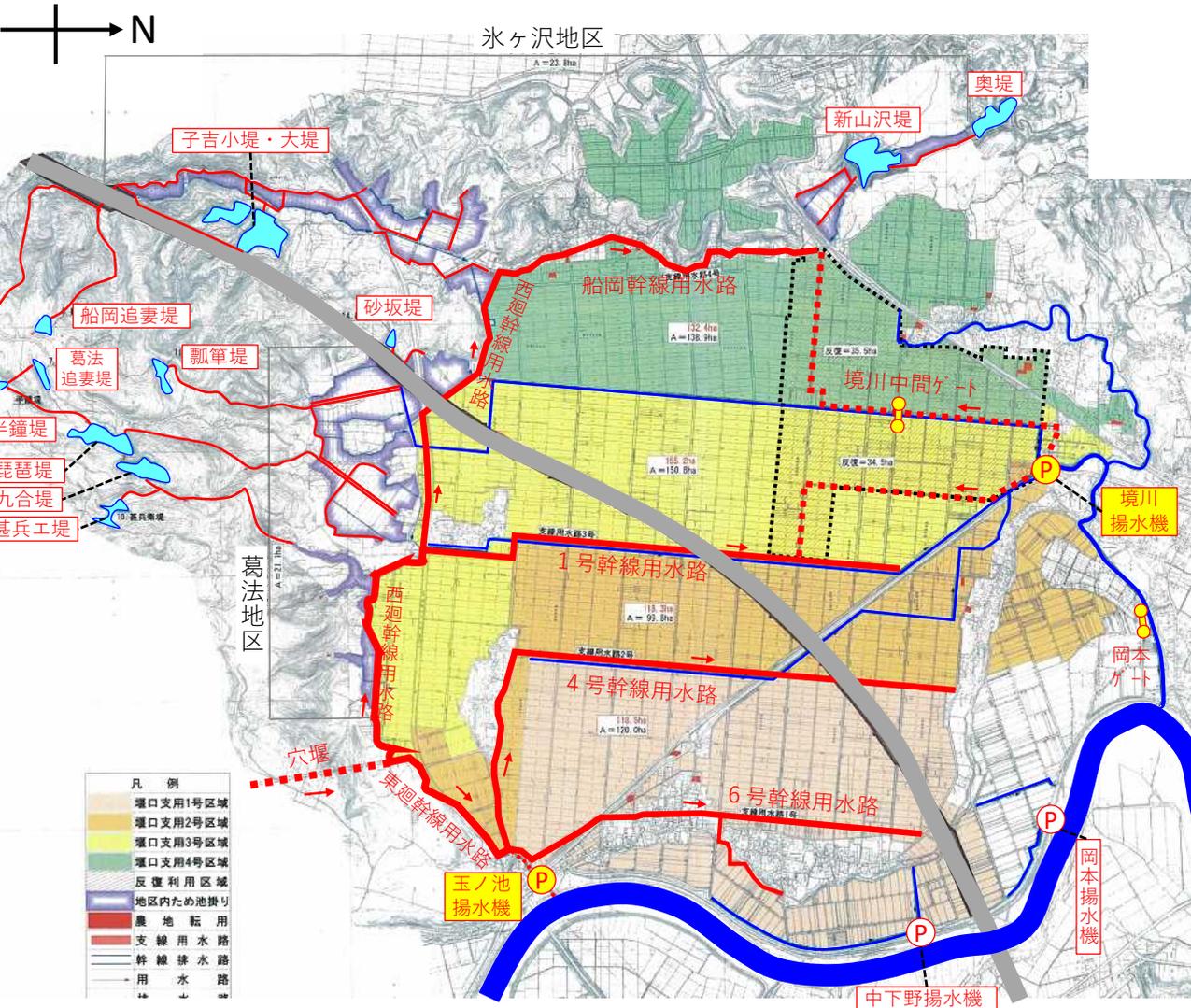


現在の名称（旧名称）	子吉ため池（子吉2号ため池）	黒森川第2貯水池（子吉1号ため池）	黒森川第1貯水池
堤高／堤長／貯水面積	10.3m／305m／22.4ha	20.7ha	26m／330m／18.2ha

- 堰口頭首工～穴堰からの取水を主とし、不足分を玉ノ池揚水機・境川揚水機により補給する。
- 幹線水路掛かり以外の部分はため池等から用水供給される。
- 主要な施設はスマートフォンによる遠隔操作が可能となっている。



- 6号幹線・4号幹線の受益地は堰口頭首工（穴堰）からの用水に加え、玉ノ池揚水機からの補給を受ける。
- 1号幹線・船岡幹線の受益地は堰口頭首工（穴堰）からの用水に加え、下流部は境川揚水機からの補給を受ける。
- 南部の葛法地区、西部の氷ヶ沢地区はそれぞれのため池からの供給を受ける。



境川中間ゲート下流側より南（上流側）を望む



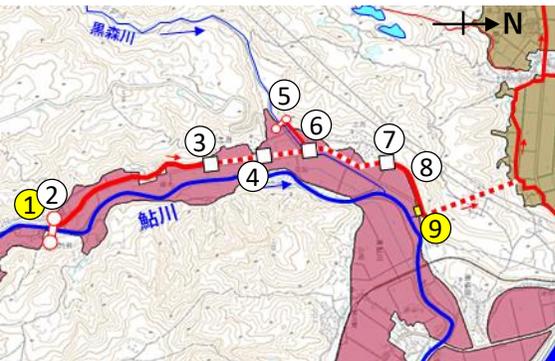
境川中間ゲート下流側より東を望む

(各施設の状況)

堰口頭首工・導水路

遠隔操作対象の施設

■ 堰口頭首工からは開水路・管水路を経由し受益地にはトンネル送水。黒森川からの補水は管水路部のスタンドに注水。

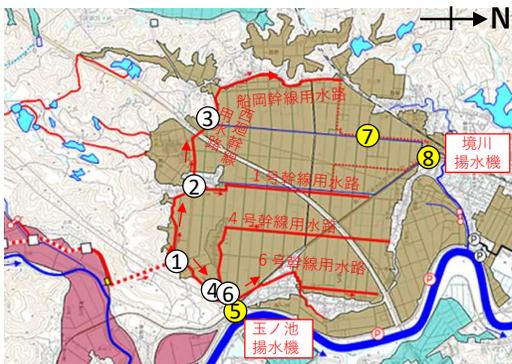


(各施設の状況)

堰口頭首工・導水路・子吉ため池からの補水

- 堰口頭首工からの導水はトンネル出口で南北に分岐し、北は西廻・1号幹線方面に、南は玉ノ池揚水機掛かり（4・6幹）方面に向かう。
- 4・6号幹線へは、堰口頭首工からの導水+玉ノ池揚水機による補水により供給。

遠隔操作対象の施設



① 穴堰トンネル出口



① 西廻幹線・東廻幹線分岐工



② 西廻・1号幹線分岐工



③ 排水路吐水工



④ 玉ノ池揚水機吐出柵
・4号/6号幹線分岐工



⑤ 玉ノ池揚水機



⑦ 境川中間ゲート



⑧ 境川揚水機



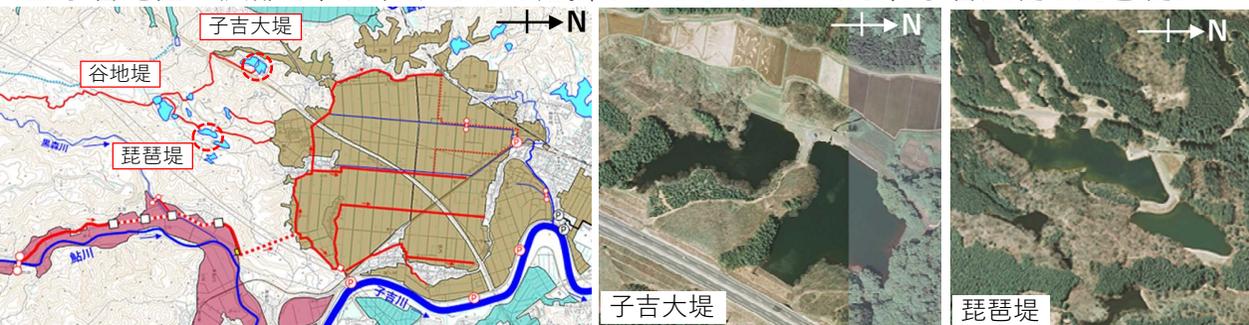
⑥ 6号幹線分岐工



(各施設の状況)

子吉大堤・琵琶堤

■ 子吉地区の沢部は、点在するため池掛かりとなっているが、子吉大堤と琵琶堤については、上流の子吉ため池～谷地堤から流入がある。



子吉大堤



子吉大堤の受益地



琵琶堤



九合堤



豊潤の源(子吉大堤)

※抜粋

この溜池は船岡、藤崎、葛法に灌漑用水と供給する氷ヶ沢堤（昭和四十二年干拓）を補うため対象八年に築造され、昭和八年由利原に子吉二号溜池を築造しこの溜池の補給水にするため由利源幹線水路を開設、同二十年隣接地に小堤を築造し一体的に使用してきた。同三十九年の新潟地震で堤体崩壊や、豪雨など被災の都度改修や補強を施してきたが、平成九年底樋沿いに陥没が生じ貯水不能となる。同十年組合員の同意を得て調査及び事業申請を行う。翌十一年から二ヶ年の調査において、堤体、洪水吐、貯水施設等総合的な改修が必要と判断され、地元より管理と用水の効率化には大堤と小堤の併合が必須と要望があり、その具現化も行う事とし、平成十三年度工事着工し同十七度完了した。

事業にあたり船岡町内会及び周辺関係者には土地の使用や利用等、また子吉座三句から堤体盛土の提供など皆様の協力により完成した。
子吉大堤地区県営ため池等整備事業
平成十七年十一月建立
由利本荘市子吉土地改良区



琵琶堤改修記念碑

※抜粋

事業主体 秋田県
着工 昭和六二年八月 竣工 平成七年三月
貯水量 一二万立法米
堤長 第一 九〇米 第二 九五米
堤高 第一 一三米 第二 四米
取水施設
斜樋 鋼管三百五〇耗米
底樋 ボックス千耗米×千耗米
能力 毎秒〇.一立方米
洪水吐
側水路型 五米
能力 毎秒六・五立方米
平成六年十一月建立
本荘市子吉土地改良区



- 地区の上流部（南側）は玉ノ池揚水機等から用水供給を行いつつ、中下野揚水機により反復利用する。
- 地区の下流部（北側）は子吉川本川から取水する岡本揚水機から取水するとともに、最末端では子吉地区からの排水を利用し取水する。

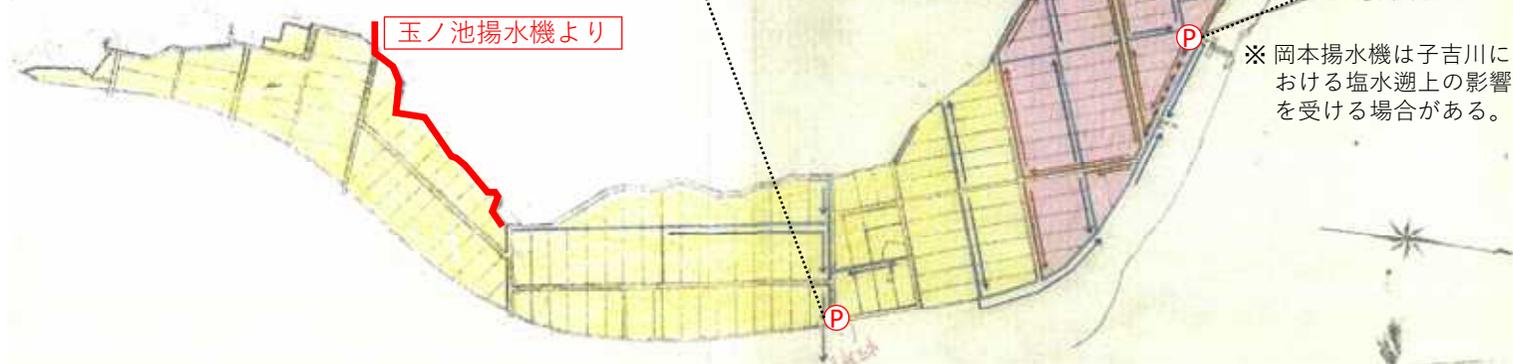
遠隔操作対象の施設



③ 岡本ゲート



中下野揚水機



玉ノ池揚水機より

※ 岡本揚水機は子吉川における塩水遡上の影響を受ける場合がある。



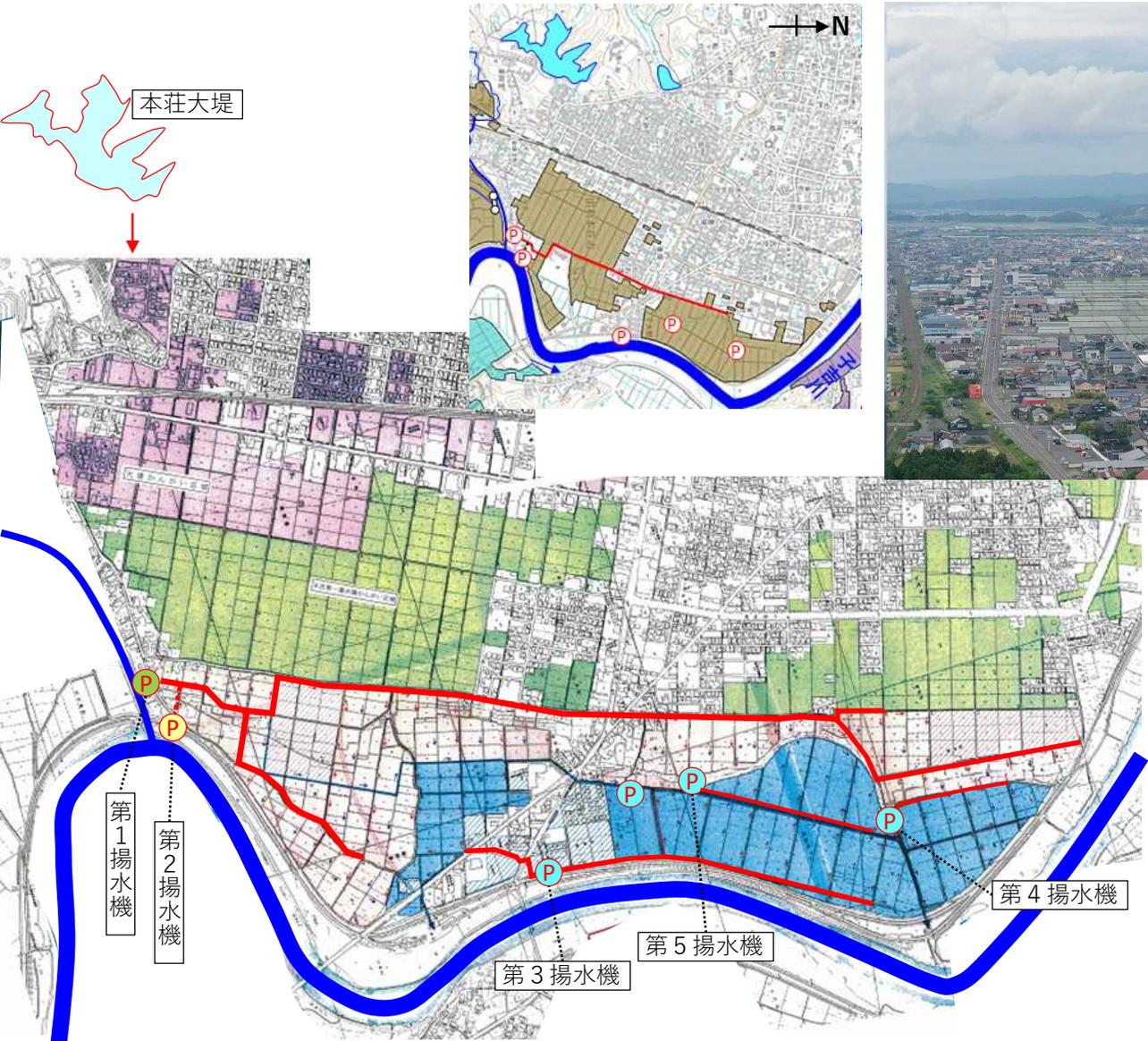
岡本揚水機



農業水利システム 第1工区 (旧中央地区)

揚水機場・ため池からの開水路を通じた供給主導型システム

- 地区の西側は本荘大堤から、地区の中央は第1揚水機・第2揚水機から、地区北側の下流側は第3揚水機から開水路により用水供給。
- 第3揚水機掛かりは排水路に設置された第4・第5揚水機等により反復利用を行う。

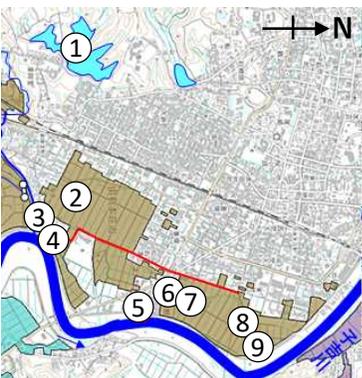


(各施設の状況)

第1工区 (旧中央地区)

■ 本荘大堤は第1工区上流部の市街地側の受益に用水供給を行う。

■ 第1揚水機は中央地区の基幹的取水施設であり、子吉地区の流末に位置する境川から取水し、開水路により送水する。



① 本荘大堤



② 第1揚水機掛 上流部



③ 第1揚水機



⑥ 水中ポンプ



⑦ 第5揚水機



④ 第2揚水機



⑤ 第3揚水機



⑧ 第4揚水機



⑨ 第3～5揚水機掛かり



記念碑に記される地区の歴史



記録碑

着工 昭和五拾壹年拾月壹日
 壹番堰
 同 昭和五十貳年拾月壹日
 大堤大水路
 完成 昭和五十貳年拾貳月貳拾五日
 総事業費 参千五百拾壹萬八千圓
 水路延長 壹千九百九拾七米
 従来の土水路老朽のため漏水甚しく各年度の総会決議により水路舗装を行い積年の用水不足解消を図る。事業完成に當り記録を刻し茲に碑を建立す
 昭和五拾三年九月四日
 本莊市中央土地改良区

田ノ神

記念譜 本莊市中央土地改良区
 昭和八年設置した百馬力揚水機は能力老朽に加へ下流の梵天谷地揚水機又弱少にして灌漑水著しく窮迫し全耕地二百六拾町歩の早害近年頻繁となる昭和四十五年度総会に於て二八〇名全組合員の同意のもとに団体営かんばい事業として水門及び百馬力揚水機並に梵天谷地揚水機の更新工事に今年十一月四日着工昭和四十七年三月三十日竣工す。ここに田ノ神碑を建立し記念とする
 昭和四十七年六月二十日
 総工事費 二千六百三十一万八千圓
 国庫補助金 一千八百八十五万五千圓
 農林漁業資金借入金 一千百五拾万円
 事業賦課金 二百九十六万三千圓

中央地区 境川 第一揚水機
記録碑

第一揚水機場は、旧本莊市中央土地改良区全域の灌漑用水を供給する重要な施設で、近年建屋・揚水機等の老朽化が進み早急な改修が必要となり、平成十一年度工事申請し、平成十六年度に完成した。平成十四年二月一日には旧本莊市中央土地改良区と合併、平成十七年三月二十二日に一市七町の合併により、由利本莊市子吉土地改良区となる。
 (第一揚水機維持管理適性化事業)
 総事業費 五百六十万円
 受益面積 百二十二ヘクタール
 事業期間 平成十五年度～平成十六年度
 補助団体 国・県・市
 負担割合 改良区三割

溜池之碑

記念譜 本莊市中央土地改良区
 この大堤溜池は遠く元禄十一年に築造され旧藩時代は藩費を以て維持管理されてきた然るに廃藩後は地主の負担となったため費用を吝んで修理を忽がせにし明治三十二年三月十六日遂に堤防決潰して甚大なる被害を蒙った直ちに修復したが二百六十余年を閲しているため老朽甚だしく満水時に於ける不安は募るばかりであった依って昭和三十二年九月改修工事に着手し樋の新設堤防の補強余水吐の拡張等工事費七百三十八萬七千圓を以て昭和三十五年四月工事を完了した
 これより安じて耕作に従事し増産に寄與するところ大なるに至った茲に工事の竣工を記念し碑に録して永遠に傳う 昭和三十五年八月建

命源の碑

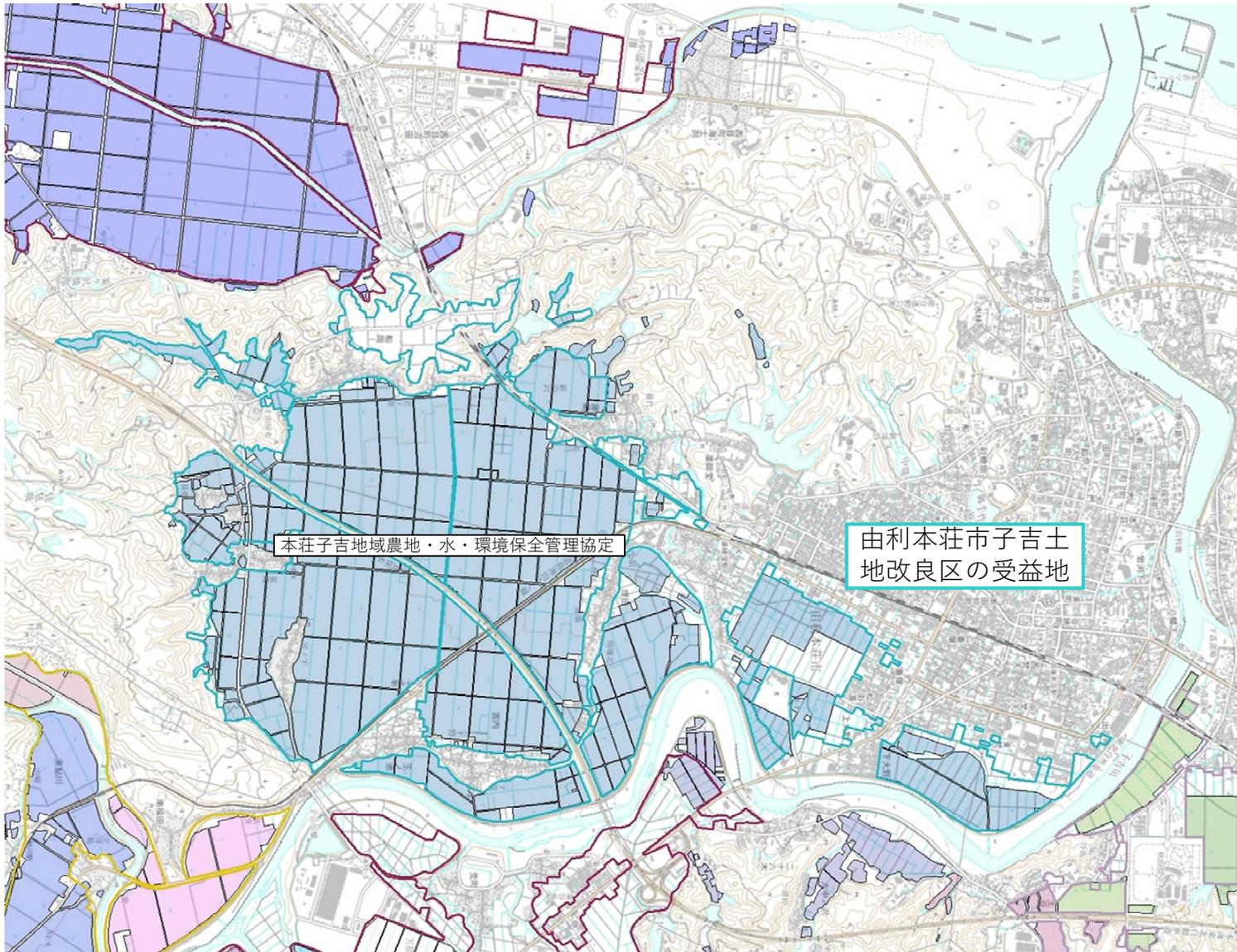
本莊大堤は、約三〇〇年以上前に造られた農業用ため池である。満水になったときの面積は九ヘクタール、一二〇ヘクタールの地域から水を集めており、灌漑されている水田は六〇ヘクタールに達する。昭和年間には二度にわたり改修と補強が行われているが、施設の老朽化や大雨が降ったさいの安全性などの点で、さらに堤体の安定を図る必要があった。このため、平成五年度に、「本莊大堤地区ため池等整備事業」として事業が採択され、平成十二年度までの八年間にわたり、堤体の補強や取水塔の新設、余水吐の改修が行われた。

本莊大堤は現在まで、本莊市中央土地改良区によって営々と施設が良好に管理されてきており、関係組合員一八二戸の人々の農地を潤している。ため池等整備事業により各施設の安全性が向上したのみならず、周辺の自然景観や住民の居住環境にも適合した整備が、二〇世紀を終え新世紀を迎える今完成したことは、関係者一同の慶びとするところである。

この整備に当たっては、農林水産省の補助のもと、秋田県や本莊市、そして関係受益者が一致団結して事業の推進と完了に向け邁進してきた。私たちは、本莊大堤の水が三〇〇年以上の長きにわたって脈々と田地からの恵みをもたらしてくれたことに感謝すると共に、二一世紀においてもその水が子々孫々の糧とならんことを祈念してここに竣工記念碑を建立するものである。

事業名 本莊大堤地区県営ため池等整備事業 事業費 六億四千五百万圓
 平成十三年三月

- 土地改良区の受益地を概ねカバーする「本荘子吉地域農地・水・環境保全管理協定」が存在。土地改良区は構成員であるが事務受託は無い。
- 共同活動まで実施している。



- 昭和54年度～57年度にかけ、子吉川沿いの「岡本地区」においてほ場整備を実施。
- 主たる受益地の子吉地区については、昭和62年度から2期に分割して事業を行い、平成8年度に完了。

地区名	制度	工期	受益
岡本	一般	S54～S57	84 ha
子吉	一般	S62～H7	186 ha
子吉2期	一般	S63～H8	253 ha

